JAうつのみや

アグリジャンプ 8

2026 August

no.341

❷ 農Like!農Life!
❸ 特集① 新常勤役員のご紹介
❻ 特集② 米政策転換期に考える 地域農業の未来
❼ JA news & Topics
❿ 管内インフォメーション
⓬ 営農情報
⓭ 女性組織Report
⓮ レシピ／直売所情報
⓯ 健康百科／資産管理講座
⓳ 事業所だより

Instagram

公式HP

JAうつのみやイメージキャラクター
ジャンプくん

耕そう、大地と地域のみらい。

農 Like! 農 Life!

熱意ある農業者を紹介

仲間の支えを力に、挑戦を続ける

鈴木（すずき） 陽夏美（ひなみ）さん(27歳)

河内支所管内　経営内容 アスパラガス

Q 就農した時期と、就農のきっかけについて教えてください。

A 2022年に就農しました。高校卒業後に1年間アメリカへ語学留学をし、帰国後は英会話スクールで働いていました。そのうち家でできる仕事がしたいと思うようになり、実家が米農家で農地もあったことから「何か作ってみようかな」と考え、JAへ相談しました。そこで、自宅近くで研修を受け入れているアスパラガス農家がいることや、女性でも取り組みやすい品目だと教えてもらい、アスパラガス栽培を決めました。1年間の研修を通して農作業は苦ではなく、むしろ楽しいと感じました。また、自分で時間を調整しながらメリハリを持って働けるところも「自分に合っているな」と思います。

Q 研修ではどのようなことを学びましたか。

A 1年間研修を受けましたが、毎日が勉強でした。分からないことはメモを取ったり、動画を撮ったりして、一つ一つ覚えていきました。研修先では、ちょうど増反をするタイミングだったこともあり、土づくりからハウス建設、定植まで一連の作業を実際に見ることができました。翌年には自分も同じ工程を行う予定だったため、貴重な経験となりました。

Q 栽培管理で特に気をつけていることはありますか。

A 病害虫を発生させないことを一番意識しています。就農初年度には、ほ場内のほとんどの葉が茶色く枯れてしまったことがありました。薬をかけても手遅れで、「全部だめになってしまった」と思っていた時、JAグリーンアスパラガス専門部の皆さんがほ場を見に来てくださいました。「アスパラガスは強い。また出てくるから大丈夫」とアドバイスをもらい、とても安心しました。それからは病害虫が発生する前の予防を中心とした対策を心がけています。まだ試行錯誤ですが、JA職員や先輩農家の皆さんに相談しながら、自分に合った栽培方法を探しています。

Q 農業の魅力や、これからの目標を教えてください。

A 就農を決めてから今まで、さまざまな困難がありましたが、一つひとつ乗り越えてきました。振り返ると、「自分にもできた」と思える経験の積み重ねが自信となり、やりがいにつながっています。今後は反収を上げ、収穫量を増やしたいです。将来的にはハウスを増設し、規模拡大にも取り組んでいきたいです。周囲の方に支えてもらいながら、これからも「まずはやってみる」という気持ちを大切に、自分がどこまでできるのか挑戦していきたいです。

新常勤役員のご紹介

組合員とともに、新たな一歩を

5月27日に開催された第28回通常総代会ならびに臨時理事会、臨時監事会における承認を経て、新たな役員体制がスタートしました。

農業を取り巻く環境は大きく変化しており、生産資材価格の高騰や担い手不足、気候変動への対応など、JAに求められる役割はますます重要になっています。こうした中、新常勤役員一人ひとりが、これまでの経験と責任を胸に、組合員の皆さまと地域農業の発展に向けて力を尽くしてまいります。

今回の特集では、新常勤役員5人に、就任にあたっての抱負やJA運営への思い、これから目指す姿についてお話を伺いました。それぞれの言葉から、決意や人柄を感じていただければ幸いです。

◀次のページをご覧ください。

代表理事組合長

佐藤（さとう）　俊伸（としのぶ）　出身区域：豊郷

Q 就任にあたっての抱負を教えてください。

Ⓐ ＪＡうつのみやの理念である「希望の持てる農業」と「地域のみなさまの快適なくらし」への貢献を基本に、「あってよかった」「なくては困る」と思っていただけるＪＡを目指してまいります。農業を取り巻く課題は山積していますが、農家・組合員の皆さまがＪＡに何を求めているのかを的確に捉え、優先順位を明確にしながら、スピード感を持って課題解決に取り組んでまいります。

Q 現在、JAで最も力を入れたいことは？

Ⓐ 第一に、「担い手の確保と持続可能な地域農業の実現」です。営農指導体制のさらなる充実をはじめ、スマート農業や省力化技術の活用、環境に配慮した農業への取り組みを進め、規模の大小にかかわらず、意欲ある農業者が将来に希望を持てる環境づくりを進めてまいります。第二に、「組合員・利用者の皆さまに寄り添う総合事業の強化」です。信用・共済・生活関連事業などが連携し、JAの総合事業の強みを生かしながら、安全・安心で暮らしやすい地域づくりに貢献してまいります。

Q 組合員の皆さまへメッセージをお願いします。

Ⓐ JAは、組合員が自ら出資し、運営し、利用する協同組合です。この原点を大切にしながら、組合員・地域の皆さまとともに歩み、「ＪＡがあってよかった」と実感していただける組織を目指して全力で取り組んでまいります。今後とも、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事専務

半田（はんだ）　光隆（みつたか）　出身区域：北部（篠井）

Q 就任にあたっての抱負を教えてください。

Ⓐ 引き続き役員という大役を仰せつかり、改めてその責任の重さに身の引き締まる思いです。激変する農業情勢の中、組合員の皆さまが何を求め、何を必要としているのかをしっかりと受け止め、常に信頼されるJAであり続けられるよう、役職員とともに力を尽くしてまいります。

Q 現在、JAで最も力を入れたいことは？

Ⓐ 最も力を入れたいのは、「地域農業の維持・活性化」です。その実現には、農業者の所得向上が欠かせません。JAが組合員一人ひとりの経営に寄り添い、「稼げる農業」につながる提案や支援を行うことが重要だと考えています。その積み重ねが後継者・担い手の確保にもつながると考えており、役職員一丸となって同じ方向を向き、取り組んでまいります。

Q 組合員の皆さまへメッセージをお願いします。

Ⓐ JAは、農家組合員の経営を支えるだけでなく、組合員の皆さまの暮らしを支えることも大切な役割です。総合事業の強みを生かし、地域農業の振興と暮らしやすい地域づくりに取り組んでまいります。皆さまの声を大切にしながら、「より良いJAづくり」を進めてまいりますので、ご意見やご要望をお寄せください。

常務（営農経済担当）

阿久津　敏明（あくつ　としあき）　区分：学識経験者

Q 就任にあたっての抱負を教えてください。

A 農業者の高齢化や担い手の減少が進む中で、地域農業を持続可能なものとして次世代へつないでいくことが重要だと考えています。地域農業振興計画を基本に、担い手の育成や地域農業の振興に取り組んでまいります。また、生産者とJAの距離をさらに縮め、組合員の皆さまに「JAは自分たちの組織である」と感じていただける関係づくりを進めてまいります。

Q 現在、JAで最も力を入れたいことは？

A 第２８回通常総代会でご承認いただいた令和８年度事業計画の「食料・農業戦略」の達成に向け、着実に取り組んでまいります。特に、スマート農業の普及・拡大による生産性向上や省力化・効率化を進め、多様な担い手の確保・育成に力を入れてまいります。

Q 組合員の皆さまへメッセージをお願いします。

A JA事業を進めるためには、組合員の皆さまや生産者の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。管内の農業をさらに発展させるため、JAからさまざまな提案を行い、ともに地域農業を支えてまいります。

常務（信用共済担当）

手塚　勉（てづか　つとむ）　区分：学識経験者

Q 就任にあたっての抱負を教えてください。

A このたび常務理事に就任し、改めて責任の重さを感じています。JAは「組合員の、組合員による、組合員のための組織」であるという相互扶助の精神を大切にし、組合員の皆さまが何を望み、JAに何を期待しているのかを常に考えながら行動してまいります。

Q 現在、JAで最も力を入れたいことは？

A 信用・共済事業を担当する立場として、多様化するニーズに応える金融・保障サービスの提供に努め、農業経営の安定と豊かなくらしの実現を支えてまいります。また、総合事業の強みを生かした事業間連携を進め、相続相談をはじめとする各種相談体制の強化にも力を入れてまいります。

Q 組合員の皆さまへメッセージをお願いします。

A 組合員の皆さまの声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添いながら、課題を一つずつ着実に解決できるよう取り組んでまいります。信頼され、身近に感じていただけるJAを目指してまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

常勤監事

吉澤　善行（よしざわ　よしゆき）　区分：学識経験者

Q 就任にあたっての抱負を教えてください。

A 私たちを取り巻く環境は、後継者不足や生産資材価格の高騰など、厳しい状況が続いています。JAが組合員の皆さまから「なくてはならない組織」として信頼され続けるためには、健全な経営が重要だと考えています。常勤監事として、JA経営が適正かつ健全に行われているかを見守り、組織の信頼性向上に努めてまいります。

Q 現在、JAで最も力を入れたいことは？

A JAが組合員の皆さまから信頼され、安心して利用していただける組織であるためには、健全な経営基盤の確立とコンプライアンスの徹底が重要だと考えています。現場の声を丁寧に聞き、より良い組織づくりに貢献してまいります。

Q 組合員の皆さまへメッセージをお願いします。

A 総代会でご承認いただいた事業計画が着実に実行されているか、理事会の決定事項や内部統制が適切に機能しているかを丁寧に点検し、監事の役割を果たしてまいります。組合員の皆さまに信頼されるJAを支えられるよう、精一杯努めてまいります。

合同研修会で米政策と水田農業の未来を学ぶ

JAは6月27日、宇都宮市内のホテルで総代・事業運営委員合同研修会を開催し、総代や事業運営委員、JA役職員ら184人が参加しました。研修会は、JAとの相互理解や総代・事業運営委員の役割、農業経営への意識を深めることを目的に開催しました。

冒頭、佐藤俊伸組合長は「地域の皆さまとの対話を重ね、持続可能な農業経営の確立・強化に向けて、引き続き取り組んでいきたい」とあいさつしました。

研修では、半田光隆専務が総代と事業運営委員の役割やJAの現状、自己改革の取り組み状況について説明しました。続いて、日本大学法学部の西川邦夫教授が「令和のコメ騒動と水田農業の課題～コメ政策の表層と深層～」と題して講演しました。講演では、近年の米需給を巡る動向や水田農業が抱える課題、今後の農業政策の方向性について解説し、食料安全保障や担い手の確保、地域計画の推進など、将来を見据えた取り組みの重要性を説明しました。

参加者からは「国の農業政策への理解が深まった」「地域農業の将来について改めて考える機会になった」などの声が聞かれました。

識者に聞く　政策転換期に求められる地域農業の備え

―地域の生産者に伝えたいことは。

米政策は大きな転換期を迎えています。食糧法の改正や2027年度以降の水田農業政策の見直しなど、今後の農業経営に関わる制度改革が進められています。生産者の皆さんには、国の動向や制度の変化に関心を持ち、自ら情報を得ながら将来の経営を考えていただきたいと思います。

―今後、JAに期待する役割は。

JAには、お米の安定供給を支える役割を着実に果たしていただきたいと思います。また、集荷施設の更新や地域計画の推進などでは、生産者との丁寧な話し合いを重ね、合意形成を図ることが重要です。現場の声を大切にしながら地域農業の将来を築いていくことが、これからのJAに求められる役割だと考えています。

―最後に一言お願いします。

日頃感じていることや現場の課題は、JAや行政へ積極的に発信してください。現場の声が政策づくりにつながり、地域農業の未来を支える力になると期待しています。

西川邦夫教授

高品質なブドウ生産へ　摘房・摘粒技術を学ぶ　JA

半田技術顧問の実演を通じて摘粒技術を学ぶ参加者

JAは6月10日、宇都宮市内のブドウ生産者の園地で、直売所生産者を対象とした栽培講習会を開きました。講習会では、JAの半田睦夫技術顧問が講師を務め、摘房・摘粒の技術について、実演を交えながら指導しました。摘房では10アール当たりの適正収量を1600キロとし、目標房重に応じた着房数の調整を説明。摘粒では1房350グラム程度を目標に、果粒を傷つけないことや軸を残さないことなど、作業のポイントを伝えました。

参加者からは「収量の目安や摘粒のポイントを具体的に学べた」との声が聞かれました。今後、参加者が生産したブドウは8月初旬からJA直売所「JAグリーンかみかわち」に並ぶ予定です。

スイートコーン出荷へ 規格を確認　JA

スイートコーンを前に出荷規格を確認する参加者ら

JAは6月12日、JA上三川野菜集荷所でスイートコーンの出荷目ぞろえ会を開きました。管内では、施設や露地を組み合わせて8戸が1.8ヘクタールで「味来946」「ゴールドラッシュ」「ドルチェドリーム」などを栽培。県内市場へ出荷し、県内の量販店に並びます。

目ぞろえでJAの担当者が販売情勢や今後の見通し、自主検査規格表を説明。市場担当者が見本を示しながら品質や形状などの出荷規格を確認し、短形は1階級下げることや、アブラムシの混入防止を徹底することなどを申し合わせました。また、品質低下やしなびを防ぐため、早朝収穫を原則とし、若干早めに収穫するよう促しました。

ハウス梨「幸水」収穫スタート　JA

収穫期を迎えた「幸水」の品質を確認する鈴木さん

JA管内で6月23日、ハウス栽培の梨「幸水」の収穫が始まりました。今年は開花後の生育が順調で着果も良く、果実の肥大も進み、品質は平年以上が見込まれます。

JA管内で唯一、加温ハウス栽培の梨生産に取り組む鈴木隆弘さんは、約30アールのハウスで「幸水」を栽培。鈴木さんは「温度管理や水管理に気を配ってきた。消費者の皆さまにおいしい梨を届けられるよう引き続き努めたい」と話しました。

JA管内では、7月下旬から露地栽培の「幸水」の出荷が始まり、その後「豊水」「あきづき」「新高」「甘太」「にっこり」と、品種リレーが続きます。

地場農産物の販売強化へ 意見交換　JA

販売状況や売り場づくりについて意見を交わす参加者

JAは6月23日、JA南部営農経済センターで、(株) ヨークベニマルの青果マネジャーとインショップ事業登録生産者による意見交換会を開きました。

JAは同社へのインショップ事業を展開し、現在は宇都宮エリア12店舗へ地場農産物を出荷（自己搬入含む）。地産地消の推進と生産者所得の向上に取り組んでいます。

当日は販売状況や売り場づくりについて意見交換。JA担当者は「販売現場の課題やニーズを共有できた。今後も情報共有を密にし、販売力強化と生産者所得の向上につなげたい」と話しました。

梨の生育状況を確認 高品質出荷へ　JA梨専門部

同センター研究開発部果樹研究室の担当者の説明を聞く参加者ら

JA梨専門部は6月25日、宇都宮市の各ほ場で現地検討会を開きました。城山・清原・雀宮・河内の4支部ごとに支部代表生産者のほ場を巡回し、品種ごとの着果状況や果実の肥大状況、病害虫の発生状況などを確認。巡回後は県農業総合研究センターの果樹園で、総括検討を実施しました。

今年産は着果が良好で、果実肥大もおおむね平年並みに推移。JA担当者は「昨年と比べ平均で1000～2000果程度多い状況」と説明しました。県内や近隣産地でも豊作基調が見込まれる中、阿部剛士専門部長は仕上げ摘果や補正摘果を徹底し、高品質な梨づくりにつなげるよう呼びかけました。

夏ニラ出荷へ 規格を確認　JAニラ専門部

規格を確認する参加者

JAニラ専門部は6月下旬の2日間、上三川町と宇都宮市で夏ニラ出荷目ぞろえ会を開きました。参加者は現物を手に葉幅や葉長、切り口などの出荷規格を確認し、高品質出荷の徹底を申し合わせました。

県河内農業振興事務所の担当者が夏季の栽培管理について説明し、排水対策や遮光資材の活用、アザミウマ類など病害虫の防除、適切な農薬使用などを呼びかけました。JAの担当者は脱気の徹底やトロケ、病害虫被害株を出荷しないことなど出荷時の注意点を説明。市場担当者は「栃木県産のニラは品質の高さが市場で評価されている」と話し、今後の安定出荷に期待を寄せました。

モロヘイヤ出荷本番へ 規格を確認　JAモロヘイヤ専門部

並べたモロヘイヤの品質を確認する参加者ら

JAモロヘイヤ専門部は6月29日、出荷目ぞろえ会をJA上三川野菜集荷所で開きました。同専門部の生産者は12人で、5月から出荷が始まり、8月中旬にピークを迎える見込みです。10月中旬まで京浜地区や県内市場へ出荷します。

JAの担当者が販売情勢や出荷規格、集荷方法を説明。花や種子の混入防止を徹底するほか、朝露がなくなってから収穫し、当日出荷するよう呼びかけました。

サンプルによる目ぞろえでは、市場担当者を中心に品質や形状などの規格を確認。「安定した品質、安定した出荷を心がけてほしい」と要望しました。

ブドウの生育を確認 高品質生産へ　JAぶどう専門部

ほ場でブドウの生育を確認する参加者

JAぶどう専門部は7月6日、宇都宮市内2カ所のほ場で現地検討会を開きました。「シャインマスカット」や「巨峰」などの生育状況を確認し、生育はおおむね順調に推移していることを共有。今後の栽培管理や病害虫防除を徹底し、高品質生産につなげることを申し合わせました。

参加者は果粒の肥大や着色の進み具合、病害虫の発生状況などを確認。県河内農業振興事務所の担当者は防除対策について、JAの担当者は湿害・干ばつ対策について説明し、2026年度は降水量が多いことから湿害への注意を呼びかけました。

視察後の総括では、今後の栽培管理について意見を交わしました。

新年度方針を確認 販売額63億円目標　JA苺専門部

議案を承認する参加者

JA苺専門部は7月7日、宇都宮市内のホテルで通常総会と出荷反省会を開きました。

2025年度は育苗期の酷暑による花芽分化の遅れや、日照不足による生育の鈍化など、栽培・販売面で厳しい年となりました。26年度は栽培技術の向上による収量確保や、新たな販売形態の検討による所得向上を目指し、消費者に信頼される産地づくりに取り組むことを確認しました。販売目標は、作付面積70ヘクタール、生産量4340トン、1キロ当たりの販売単価1450円、販売金額63億円を掲げました。

役員改選では、南河内支部の石嶋元朝さんを新専門部長に選任しました。

JA news
Topics

1号車の皆さん

2号車の皆さん

3号車の皆さん

4号車の皆さん

女性組織

みどり会 研修旅行を実施（5月29日）

JA女性組織みどり会は、研修旅行で埼玉方面を訪れました。

※写真はすべて秩父神社で撮影。

「令和7年度JA自動車共済損害調査サービスにかかる感謝状贈呈式」に出席した皆さん

JA

JA共済連栃木から感謝状を受領（6月23日）

利用者満足度向上への取り組みが評価され、JA共済連栃木から感謝状をJA本所で受領しました。

JA玉葱専門部の生産者らが売り場でPR（6月6日）

メガセンタートライアル宇都宮店の売り場（6月14日）

JA

JAうつのみやフェアで管内農産物をPR（6月6日、14日）

JAは6日にイトーヨーカドー宇都宮店、14日にメガセンタートライアル宇都宮店で「JAうつのみやフェア」を開催。管内産タマネギを中心に試食宣伝を行い、旬の農産物をPRしました。

決意を表明する代表者

JA

職員本採用辞令交付式を開催（7月1日）

JAはJA本所で「令和8年度 職員本採用辞令交付式」を開催し、19人が本採用辞令を受けました。

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※誌面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総合企画課組合員広報係まで。
※最新のイベント情報などは、JAうつのみや公式インスタグラムに掲載しております。ぜひご覧ください。

Instagram

伝統受け継ぎ手植え　日光東照宮神田御田植祭

神田に「コシヒカリ」の苗を手植えする半田さん

日光東照宮神田御田植祭が6月11日、宇都宮市篠井地区で開かれました。同祭は、日光東照宮に米を奉納し、地区の豊作と発展を祈願する古くからの伝統行事です。起源は江戸時代とされています。現在、県内で神田の奉耕を行うのは篠井地区を含めて2地区のみ。篠井地区では毎年1人の奉耕者を選び、2026年は半田聖滋さんが神田を耕します。半田さん宅で祭事が執り行われた後、参加者が神田に「コシヒカリ」の苗を手植えしました。半田さんは「歴史の重みを感じながら、無事に奉納できるよう役目を果たしたい」と意気込みを語りました。

満開願い地域住民と種まき　キバナコスモス

キバナコスモスの種をまく地域住民

宇都宮市の鈴木康夫さんは6月14日、地域住民とともにキバナコスモスの種まきを行いました。畑は約3500㎡で、宇都宮美術館近くの「まほろばの道」沿いにあります。鈴木さんは、1997年に同館開館当時、減反政策をきっかけにソバからコスモスに転換。「来館者に自然豊かな里山を楽しんでほしい」との思いで栽培を続けています。2006年には「とちぎ花のまちづくりコンクール」の「実践活動の部」で優秀賞を受賞しています。最盛期は、8月中旬～ 9月中旬。毎年多くの人が里山の風景と一面に咲くキバナコスモスを楽しみに訪れます。

弁当の米作り視察し産地交流　崎陽軒が産地訪問

ほ場で生産者（右）から生育状況の説明を聞く関係者

（株）崎陽軒と全農パールライス（株）神奈川営業所、JA全農とちぎは6月18日、JAうつのみや管内を訪れ、米作りを視察しました。同社は「シウマイ弁当」に栃木県産コシヒカリを使用し、2019年から管内産地との交流を続けています。一行はJA本所で意見交換を行った後、JA上河内営農経済センターでJA担当者や生産者と交流。ほ場では、生産者から栽培管理などの説明を受けました。生育は順調で、生産者は高温対策や適切な水管理を徹底し、品質向上に努めています。佐藤俊伸組合長は「顔の見える産地として、安全・安心でおいしい米作りに取り組みたい」と話しました。

中学生を受け入れ　宮っ子チャレンジウィーク

タマネギの袋詰め
作業を行う生徒（陽東中）

生産者に質問する生徒（田原中）

JAは6月から7月にかけて、管内市立中学校の2年生を対象とした社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」に協力しました。JA東部選果場で陽東中学校の生徒を3人、JA上河内営農経済センターで田原中学校の生徒を1人受け入れました。生徒らは、農作物の箱詰めや直売所での品出し、袋詰めなどの作業を体験。田原中学校の生徒は生産者のほ場も訪れ、農業への理解を深めました。

今後もJAは同取り組みに協力していきます。

水稲

今月は、米の品質と収量に影響する大切な時期になります。気象庁の予報では、8月の平均気温は平年並みから高くなる見込みとなっています。白未熟粒や胴割粒の発生は、この時期の気温に関係することから注意が必要です。被害粒の発生を抑え、充実した米を得るための管理を心がけ、おいしい「米」づくりを目指しましょう。

品質向上のために

胴割れや白未熟の発生しやすい要因を表1にまとめました。

表1

胴割粒・白未熟の発生要因

胴割粒	白未熟（乳白・腹白など）
出穂後10日間の気温が高い	出穂後20日間の気温が高い
最高気温の平均が30℃以上	最高気温の平均が32℃以上
登熟期の葉色が淡い	平均気温の平均が27℃以上
早期落水・刈遅れ	総籾数が多い
浅い作土	早期落水やフェーン現象など
高水分籾の高温乾燥	日照不足・窒素不足

稲は登熟期の栄養状態が良好で、根の活力が維持されることで登熟や品質の向上が図られます。高品質米生産のため次のことを実行しましょう。

①出穂後の高温時には午後灌水や夜間灌水などにより地温を下げる。ただし、下流に水が回らなくなる水系は、こまめに灌水する。また、フェーン現象が予想される時はやや深水とする。

②早期落水は避け、落水時期は出穂後30日以降とする。

病害虫防除

○斑点米カメムシの被害を抑えるには、稲の出穂までに2回連続して畦畔の草刈りを行ってイネ科雑草の出穂を抑え、水田に引き寄せないことが重要です。草刈りによるイネ科雑草の抑制は最大3週間なので、作業間隔が開き過ぎないよう留意しましょう。

薬剤防除の時期は、1回目は出穂後7～10日で、必要に応じてその後7～10日に2回目を防除します。

なお、無人ヘリによる一斉防除は、その地域の平均的な出穂に合わせて計画しています。極端に早い出穂や「あさひの夢」のように遅い出穂のほ場は、独自に防除を実施することが必要になります。

ドローンによる防除は、地上防除と農薬の希釈倍率・散布量が異なりますので、農薬のラベルを必ず確認しましょう。

○穂いもちを水和剤や乳剤などで防除するときは、葉いもちの発生が少ないほ場は穂ぞろい期に予防効果の高い薬剤を、葉いもちの発生が多いほ場は、出穂始めと穂ぞろい期に予防効果と治療効果の高い薬剤を散布します。粒剤で防除するときは薬剤に適した時期に使用します。

○紋枯病は、高温・多湿の年に発生が多くなるため、100株中20株の発病があるときは病徴の進展に注意し、防除しましょう。

表2　水稲の主な防除薬剤

（10a当たり）

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率・散布量	使用時期/使用回数	RACコード
カメムシ類	ビームエイトEXゾル	1000倍・60～150L	収穫7日前まで/3回以内	I：4C/F：16.1
	エクシードフロアブル	2000倍・60～150L	収穫7日前まで/3回以内	I：4C
	スミチオン乳剤	1000倍・60～150L	収穫21日前まで/2回以内	I：1B
	トレボンEW	1000倍・60～150L	収穫14日前まで/3回以内	I：3A
いもち病	ブラシンフロアブル	1000倍・60～150L	収穫7日前まで/2回以内	F：U14/F：16.1
紋枯病	モンカットフロアブル	1000～1500倍・60～150L	収穫14日前まで/4回以内	F：7
	バリダシン液剤5	1000倍・60～150L	収穫14日前まで/5回以内	F：U18

大豆

紫斑病・べと病と害虫の防除

紫斑病の防除は開花期（4～5割の株に花が咲き始まったとき）の15～35日後とし、1回目は早い時期に行いましょう。べと病が発生した場合は、開花後の早い時期に防除を行いましょう。

カメムシ類やマメシンクイガなどの害虫防除は、開花期の15日後に1回目の防除を行い、その後は10～14日おきに3～5回薬剤を散布しましょう。

ハスモンヨトウは、発生初期（体長1㎝以内）に薬剤を散布します。特に8月下旬から9月上旬に若齢幼虫が集団で加害しているときの防除は効果的です。

表3　大豆の主な防除薬剤

（10a当たり）

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率・散布量	使用時期/使用回数	RACコード
紫斑病	ファンタジスタフロアブル	1000～2000倍・100～300L	収穫7日前まで/3回以内	F：11
	サンリット水和剤	1000～2000倍・100～300L	収穫14日前まで/2回以内	F：3
	ゲッター水和剤	1000倍・100～300L	収穫14日前まで/3回以内	F：10/F：1
	Zボルドー	500倍・100～300L	発病前～発病初期	F：M1
べと病	ランマンフロアブル	1000～2000倍・100～300L	収穫7日前まで/3回以内	F：21
	ベトファイター顆粒水和剤	2000～3000倍・100～300L	収穫7日前まで/2回以内	F：27/F：40
マメシンクイガおよびカメムシ類	スミチオン乳剤	1000倍・100～300L	収穫21日前まで/4回以内	I：1B
	トレボンEW	1000倍・100～300L	収穫14日前まで/2回以内	I：3A
	ダントツ水溶剤	2000倍・100～300L	収穫7日前まで/3回以内	I：4A
ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル5	4000倍・100～300L	収穫7日前まで/2回以内	I：28

ご案内　栽培に関するご相談は、お近くの営農経済センター営農課までお問い合わせください。

女性組織活動を通じて、地域のつながりづくりを進めています。

女性組織 Activity Report（アクティビティ レポート）

2026/06/10（水）
みどり会 上河内支部 輪投げ大会

輪投げ大会を開催。楽しく体を動かしながら交流を深め、みんなで盛り上がることができました。

2026/06/11（木）
みどり会 清原支部 多肉植物の寄せ植え教室

多肉植物を使った寄せ植え教室を開催。初めての多肉植物に戸惑いながらも一鉢を完成させ、愛着のわく作品ができました。毎日眺めながら、大切に育てていきたいと思います。

2026/06/11（木）
みどり会 河内支部 調理実習・ヨガ

夏野菜を使った調理実習とヨガを実施。夏バテのときでも食べやすく、とてもおいしい料理ができ、心も体もリフレッシュできました。

2026/06/17（水）
みどり会 瑞穂野支部 椅子を使った体操教室

上都賀総合病院の作業療法士・理学療法士を講師に迎え、「自分の足で100歳まで歩く体づくり」をテーマに講話と実技を実施。円になって一つひとつの動きを丁寧に教えていただき、リラックスしながら筋力アップも実感できました。継続できたら最高です。

2026/06/19（金）
みどり会 姿川支部 健康講座～健康寿命を延ばそう！～

理学療法士の指導のもと健康講座を開催。和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく体を動かし、健康づくりの大切さを改めて実感しました。

2026/06/26（金）
あじさい会 富屋支部 消費生活センター出前講座

消費生活センターによる出前講座で、悪徳商法や詐欺の手口と対策について学びました。不審なことがあれば一人で判断せず、必ず相談することを心がけていきます。

女性組織「みどり会」「あじさい会」「なの花会」新規会員募集中！
問い合わせは、企画管理部 総合企画課 TEL：028-688-0029（平日 8:30～17:00）まで。

食卓を彩る

とっておきレシピ

【ナスの肉みそ炒め】

赤堀料理学園校長
赤堀 博美
（あかほり ひろみ）
東京都文京区小石川生まれ。管理栄養士。日本女子大学大学院食物栄養学専攻修了。日本女子大学非常勤講師、十文字学園女子大学非常勤講師、日本フードコーディネーター協会常任理事。

材料（6人分）

- ナス……8本（640g）
- インゲン……4本（30g）
- 豚ひき肉……100g
- ネギ……1本（100g）
- ショウガ……1片（5g）
- ニンニク……1片（5g）
- 赤唐辛子……1本
- A
  - 赤みそ……大さじ3
  - 豆板醤（トウバンジャン）……小さじ1
  - 砂糖……小さじ2
  - しょうゆ……大さじ1
  - 酒……大さじ1
  - 片栗粉……大さじ1/2
  - 水……200ml
- 油……大さじ3

作り方

❶ナスはへたを切り落として縦6等分に切り、10分程度水にさらしておく。インゲンは筋を取り、2分程度ゆでてからざるにあげ、3等分の長さに切る。
❷❶のナス、インゲンの水気を拭き取り、160度の揚げ油（分量外）の中で2分ほど素揚げする。
❸ネギ、ショウガ、ニンニクはみじん切りにする。赤唐辛子は水に30分ほど漬けてから種を取り除く。Aはボウルに入れよく混ぜておく。
❹中華鍋に油を熱し、ショウガ、ニンニク、赤唐辛子、豚ひき肉の順に入れて炒め、豚ひき肉がパラパラになったらネギを加えてさっと炒め、Aを加えてさらに炒める。
❺とろみが付いてきたら、ナスを加えて混ぜながら2、3分煮込む。仕上げにインゲンを加え、赤唐辛子を取り除き、皿に盛って出来上がり。

ポイント

旬のナスを使った、ご飯が進む1品です。赤唐辛子は水に漬けておき、丸ごと使うことで程よい辛さになります。❺ではナスが崩れないように大きく混ぜながら煮込みましょう。

直売所情報

お盆の切り花は JA直売所で！

日持ちが良いと評判です

※売り切れの際はご容赦ください。

JA直売所 サマーセール 8月末まで開催中

安心安全なエーコープマーク品を中心に「なす漬けの素」などの食品をお買い得価格で販売しています。

【対象店舗】JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち

JAグリーンかみかわちからのご案内

年金支給日の**8月14日(金)限定**

新発売 青源味噌(株)
青源の冷しあまざけ

※アルコールは全く含みませんので、いつでもどなたでも安心してお召し上がりいただけます。
※表示価格はすべて税込です。

（通常価格）780円 → 特別価格 **700円**

対象のJA直売所でJAカードをご利用いただくと ご請求時10%割引！

JAカードをお持ちでない方はぜひお早めにご入会ください!!
対象期間：2026年10月1日(木)～10月31日(土)
対象店舗：JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち
※その他特典がいっぱい！
詳しくは店頭ポスター、または支所でご確認ください。

JA直売所のご案内（8月）

店　舗	電　話	営業時間	定休日（お盆期間など営業日程の変更・棚卸店休含む）
「えきの市場」内JA農産物直売所	028-627-8438	10:00～20:00	なし
JAグリーンインターパーク	028-656-1212	8:30～17:00	8/30（日）、31（月）
JAグリーンかみかわち	028-674-2711	9:00～17:00	8/4（火）、31（月）
上三川いきいきプラザ農産物直売所	0285-55-1515 上三川営農経済センター営農課（上三川）	9:00～13:00	8/11（火）、いきいきプラザ閉館日8/29（土）～31（月）

知って納得！

資産管理講座

ウチノ税理士法人
税理士

河内（こうち）　太邦（たかくに）

贈与時の時価はどっち？

Q 父が山林を保有しており、その山林の相続税評価額は約５０万円です。今般、その山林の周辺一帯が大規模な工場用地の開発にかかる見込みとなりました。開発についての住民説明会も行われ、開発計画も着実に進んでいくものと思われます。業者の買い上げ案では、坪あたり3万円であり、父の山林ですと約7，０００万円で買い上げられる見込みです。売却金額や売却時期について正式に決定するのは来年になる予定ですが、今年中にその土地を父から私に贈与した場合、その土地の時価は、現在の山林の評価額である５０万円なのか、買い上げ予定額の7，０００万円なのか、どちらになるでしょうか？教えてください。

A 贈与を受けた財産の価額は、その財産を取得した時点の時価とされています。この場合の時価とは、取引の実例において現に成立する取引価格を予定しているものとされています。その成立する取引価格の把握が難しい場合には、財産評価基本通達という、国税庁が定めている方法によって評価します。

贈与によって山林を取得した時点で、その土地の周辺一帯の開発が進んでおらず、1坪あたり3万円の売買実例が未だ見当たらない場合には、当該土地は、山林として評価した時価になると思われます。この場合、財産評価基本通達によって評価した金額である相続税評価額としての５０万円で評価することとなります。

ちなみに、贈与を受けた山林を、その後売却せず、宅地にして賃付した場合であっても、その贈与を受けた時の時価は、贈与時の現況、すなわち山林としての評価額５０万円になると思われます。

法律税務相談日

8月20日（木）

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。
資産管理や土地有効活用などもお気軽にご相談ください。

けんこうひゃっか

健康百科

上都賀総合病院
薬剤部

楠（くす）　珠美（たまみ）

帯状疱疹（ほうしん）について　その２（治療薬、ワクチン）

（前号からの続き）

治療は？

●抗ウイルス薬

ウイルスの増殖を抑えるための飲み薬と注射薬があります。発症から早期に投与すると治療効果が得られやすいことが分かっています。できるだけ早く（発症から72時間以内が目安）に医療機関を受診し、抗ウイルス薬による治療を開始することが大切です。

●鎮痛薬

痛みを和らげるため、消炎鎮痛剤（痛み止め）や神経痛に特化した薬があります。

●塗り薬

患部の炎症を抑える薬などがあります。

予防（ワクチン）について

帯状疱疹はワクチンで予防できる疾患でもあります。完全に防げるわけではありませんが、重症化予防に役立つことも知られています。生ワクチン、組換え（不活化）ワクチンの2種類があり、いずれか1種類を接種します。

<帯状疱疹のワクチン>

●生ワクチン　1回皮下接種

元々は水ぼうそう予防のワクチンとして開発されたものですが、帯状疱疹の予防にも効果があることが分かり、現在使用されています。

●組換え（不活化）ワクチン　通常2カ月以上の間隔をあけて2回筋肉内接種

ウイルスの一部の成分と免疫反応を高める物質を組み合わせており、生きたウイルスは含まれていません。予防効果が高く長続きし、帯状疱疹後神経痛の予防効果も高いことが分かっています。

現在、帯状疱疹のワクチンは定期接種となっています。対象者は接種費用の助成を受けることができますので、お住まいの市町村、医療機関、かかりつけ医などにお問い合わせください。

JA共済

JA共済にご加入の皆さまへ

JA共済とつながる

Webマイページのご案内

Webマイページで
皆さまの暮らしに
「安心」と「便利」を！

POINT 1

契約内容の確認

24h

いつでもどこでも、
契約内容や
各種ご案内を
確認できます。

POINT 2

各種Web手続き

住所や電話番号、
振替口座の
変更がWeb上で
完結できます。

POINT 3

自動車共済の継続

窓口へ行く時間が
なくても、自動車共済の
継続手続きがWeb上で
完結できます。

POINT 4

払込証明書のデータ発行

年末調整・確定申告に
利用できる控除証明
データを取得できます。

JA共済アプリ 新規登録キャンペーン 実施中！

キャンペーン
特設サイトはこちら

詳細な内容につきましては最寄りの支所まで
ご連絡ください！
※ご連絡先は裏表紙をご覧ください。

○ご提供いただいた個人情報は、ＪＡおよびＪＡ共済連の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、ＪＡ共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

令和９年度 ＪＡうつのみや職員募集(高卒見込者・高卒)

筆記試験　日　時／9月17日(木)9:40～　※合格者は二次面接あり
場　所／JAうつのみや本所3階会議室

願書締切日　9月9日(水)※当日消印有効

お問い合わせ先　ＪＡうつのみや 企画管理部 人事課 (TEL:028-625-3382)

JAうつのみや 採用情報

マイナビ2027 JAグループ栃木

※高校新卒の方は、9月5日(土)より応募可能。※願書の持ち込み受付は17:00まで。※高校在籍者は学校を通してご応募ください。
※採用情報や就職説明会の詳細は、当JAホームページの「採用情報」ページ、または「マイナビ2027 JAグループ栃木」をご覧ください。

JAバンク栃木よりお知らせ

年金お受取り特典

JAバンクで年金をお受取りいただくと！

もれなく 3,000円(※1)相当 プレゼント！

対象期間:2027年3月31日(水)まで

対 象 者:❶・❷の条件を全て満たしたお客さま

❶個人のお客さまで、対象期間内に新たに年金受取実績(※2)が確認できた方。

❷対象期間内に、web申込フォームまたは専用用紙に必要事項を記載のうえ、お申込みをいただいた方。

※1:お申し込み方法により、デジタルギフトまたはQUOカード。

※2:1度に5万円以上の振込が確認でき、かつ入金明細に漢字またはカタカナで「年金(ネンキン)」、「恩給(オンキユウ)」のいずれかが表示されるお取引が対象です。

※特典のお受取りにはお申込みが必要です。
※農家以外の方でもご利用いただけます。
※特典の詳細など、お問い合わせ・ご相談はお近くのJA窓口までお尋ねください。

マイカーローン キャンペーン実施中 JAネットローン

今すぐ金利をチェック

スマホからでもパソコンからでも仮申込 OK!!

365日24時間 仮申込受付中!

JAネットローン 検索

https://ja-netloan.jp/

2027年2月26日（金）まで

ライフスタイルに合わせ次のローンの仮申込も行っております。

JAネットローン 教育ローン
入学式や授業料など幅広い教育資金に使える!

JAネットローン リフォームローン
住宅の増改築・改装などのリフォームに使える!

JAネットローン カードローン
借入枠の範囲で何度でも使える!

JAネットローン 多目的ローン
お使い道さえ決まっていればさまざまな用途に使える!(資金使途証明書類が必要です)

JAネットローン フリーローン
さまざまな用途に自由に使える!(資金使途証明書類は不要です)

購買店舗の棚卸休業のお知らせ

棚卸のため購買店舗はお休みいたします。

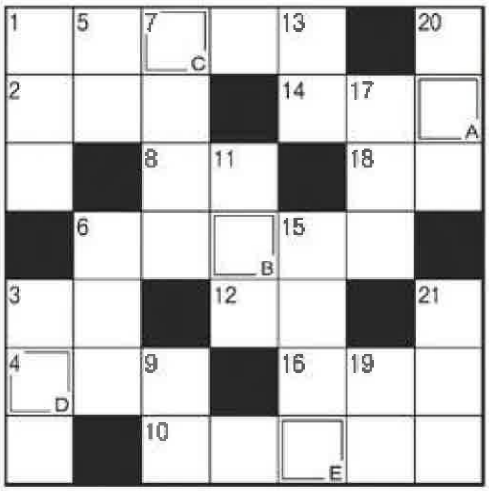
店舗名	休業日	休業時間
南部営農経済センター	8月30日(日)・31日(月)	2日間　終日休業
北部営農経済センター	8月31日(月)	終日休業
上河内営農経済センター		
上三川営農経済センター		
南河内購買店舗		

うつのみや広域農機センター 夏期休業・秋の農繁期対応のお知らせ

休業日	8/8(土)～16(日)
農繁期対応期間	8/22(土)～10/31(土)

クロスワードパズル

問題　二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



出題●ニコリ　カタカナで記入してくださいね！

ヨコのカギ

1　令和8年は8月7日。暦の上ではもう秋です
2　髪に結わえるもの
3　タンスや机などのこと
4　――ギターは電気信号で音を奏でます
6　8月15日は――記念日。平和を祈念します
8　初対面の人に――紹介をした
10　ハンバーグに入れるタマネギの切り方
12　多くは殻を持つ生き物。実はウミウシもこの仲間
14　炒った大豆をひいたもの
16　分度器で測ります
18　納豆が引くもの

タテのカギ

1　飛行機が飛び立つこと
3　田んぼでゲロゲロ鳴きます
5　土地の広さをあらわす単位のひとつ
6　シャワシャワと蝉――が降り注ぐ
7　パールともいいます
9　ヒヨコのための栄養が豊富な部分
11　小銭入れに入れます
13　ブイもこの仲間
15　北海道と青森を結ぶ――トンネル
17　野球の出場メンバーのこと
19　金づちで打ち込みます
20　城から出た――
21　盆――、阿波――

正解者の中から抽選で5名の方に千円分のクオカードをプレゼントーなお、当選者はクオカードの発送をもって発表に代えさせていただきます。

クロスワードパズル　プレゼント応募方法

パズルの答えを、ハガキかホームページ内クイズ応募フォームからお寄せください。その他、写真やイラスト、詩・短歌・俳句など、おたよりもお待ちしております。
締切：8月25日（火）必着
※ペンネーム希望の方は必ず書き添えてください。
※頂いた写真などはお返しできませんので、ご了承願います。

切手

〒320-0031
宇都宮市戸祭元町3-10
JAうつのみや組合員広報係
おたより紹介 行

① パズルの答え
② あなたの郵便番号・住所・氏名・電話番号
③ 本誌に関するご感想・ご意見をお聞かせください。

たて書きでもよこ書きでも応募可能です。

ホームページアドレス　https://www.jau.or.jp

※皆さまから頂いた情報は、JAの事業および各種サービスの提供・案内・充実などの目的以外には利用いたしません。

おたより紹介

7月号特集の「営農振興・担い手育成積立金」支援事業は、とても良い事業だと思いました。農業などの担い手が少ない昨今、初期費用などに支援してほしいです。
（上三川町　大倉さん）

未来の農業を担う人たちのことを頼もしく思います。頑張って未来を築いていってほしいです。女性組織のページも毎回楽しみに見ています。
（宇都宮市　山口さん）

簡単に作れる「地産地消レシピ」はありがたいです。
（宇都宮市　ブッチさん）

JA直売所で買える「つゆの素」が大好きで、そうめんに欠かせません。皆さんにおすすめです。
（宇都宮市　黒崎さん）

「知って納得！資産管理講座」の相続財産清算人の話を読み、誰にでも起こりうることだと思いました。詳しく書かれていて、勉強になりました。
（宇都宮市　小堀さん）

「河内支所だより」で紹介されていた西鬼怒川右岸の「桜つつみ園」に、来年ぜひ行ってみたいです！
（宇都宮市　髙橋さん）

他にもたくさんのおたよりを頂いております。ありがとうございます。

※お寄せいただいたおたよりは、内容の意味などを変更しない範囲で校正させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

7月のまちがいさがし　答え

4…風鈴の形が違う
6…スイカの模様の向きが違う
7…船が航行している
9…蚊取り線香の向きが違う
12…女の子の靴下の色が違う

編集後記

アグリスクール園芸教室で植えたキュウリをついに収穫しました！生育不良や害虫の被害を乗り越え、ようやく実った1本。収穫したてのキュウリはみずみずしくてとてもおいしく、育てた喜びを改めて実感しました。
（ひかり）

北部支所だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします！

境目に歴史あり　鞍掛峠の「橋くぐり地蔵尊」

北部支所管内の新里町を歩いていると、鞍掛峠へ向かう道沿いに静かにたたずむ「橋くぐり地蔵尊」（別名：はしか地蔵）に出会います。ここは宇都宮と日光を結ぶ境目に近く、昔から人や文化が行き交った場所でした。

その昔、地蔵堂の前には小さな橋が架かっており、その橋を３回くぐってお参りすると、子どものはしかの予防や病気平癒（びょうきへいゆ）に御利益があると伝えられていました。医療が発達していない時代、はしかは命に関わる恐ろしい病気であり、多くの親たちが子どもの無事を願ってこの地を訪れたそうです。遠方から赤ん坊を背負って参拝する人もいたと伝えられています。

何気なく通り過ぎてしまう場所にも、先人たちの祈りや暮らしの歴史が残っており、そこには地域のロマンがあります。

現在も国では、はしかへの注意喚起が行われています。昔の人々の願いに思いをはせながら、ご自身やご家族の予防接種について改めて確認してみてはいかがでしょうか。

地蔵堂

橋くぐり地蔵尊

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所	028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所	028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所	028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所	028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所	028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所	028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120−08−2065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120−258−931

JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール　028−660−5555
アトラスファミリーホール雀宮　028−633−9200
アトラス上三川ホール　0285−55−1555

LPガス関係　灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール　0800−700−0085(通話無料)
※緊急連絡先028−633−0085

アグリジャンプ　no.341　2026年8月号
【発　行】JAうつのみや　【編　集】総合企画課組合員広報係　【発行日】2026年8月1日
〒320-0031栃木県宇都宮市戸祭元町3-10
TEL 028 (688) 0029　FAX 028 (627) 3307　URL https://www.jau.or.jp